

大学番号 078

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 研究科の設置
注1

意見伺い

大分大学大学院 福祉健康科学研究科
注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人大分大学
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務部企画課企画係
職名・氏名	主任・河野 美香
電話番号	097-554-7407
（夜間）	097-554-7407
e-mail	kikaku@oita-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

福祉健康科学研究科

＜福祉健康科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人大分大学

(2) 大学名

大分大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒870-1192
大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(キタノ セイゴウ) 北野 正剛 (平成23年10月)		
研究科長	(アイザワ マサシ) 相澤 仁 (令和2年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員		
福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻 修士(健康医科学) 修士(福祉社会科学) 修士(心理学)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係) 社会学・社会福祉学関係 文学関係	2年	20人	年次 - 人	40人	新規入学者を募集 基礎となる学部等 福祉健康科学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	20	-	1.17倍	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	35	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	34	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	25	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	24	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		1.15		1.20				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	23	0	24	0	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次	/		-	-	-	-	-	-	23	0	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次	/		/		-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次	/		/		/		-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	23	0	47	0	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	23人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	47人	0人	令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	-人	-人	令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
令和5年度	-人	-人	令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
令和6年度	-人	-人	令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
			令和6年度	-人	-人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{47} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	福祉健康科学特論Ⅰ	1前	2			3	1						
	福祉健康科学特論Ⅱ	1後	2			2	2						
	地域医療健康増進科学特論	1・2後		2		4							
	地域福祉特論	1・2前		2			1						
	家族・コミュニティ心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後		2			1						
小計(5科目)		-	4	6	0	9	2	0	0	0	0		
発展科目	医療関連科目群	健康医科学特論	1・2前		2		3	2					
		高齢者疾患特論	1・2後		2		3						
		病態医科学特論	1・2前		2		10	4					
		病態治療学特論	1・2前		2		13	2					
		運動器系機能病態解析学特論	1・2後		2		3	1					
		神経系機能病態解析学特論	1・2後		2		3		1				
		医療工学特論	1・2後		2		4	1					
		公衆衛生学特論	1・2前		2		2						
		臨床実践演習	1後		2		1	2	1				
		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2								1
	小計(10科目)		-	0	20	0	37	10	1	0	0	1	
	福祉関連科目群	福祉社会科学課題演習	1前		2		1	1					
		社会福祉原理論	1前		2			1					
		社会保障政策特論	2後		2			1					
		福祉政策特論	1・2後		2								1
高齢者福祉特論		1・2後		2								1	
児童・家庭福祉特論		1・2前		2		1							
障害者福祉特論		2後		2			1						
生活困窮者支援特論		1・2前		2			1						
医療福祉特論		1・2後		2		1							
福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		1・2前		2			1						
小計(10科目)		-	0	20	0	2	4	0	0	0	2		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	福祉健康科学特論Ⅰ	1前	2			3	0					1	
	福祉健康科学特論Ⅱ	1後	2			2	1					1	
	地域医療健康増進科学特論	1・2後		2		4							
	地域福祉特論	1・2前		2			0					1	
	家族・コミュニティ心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後		2			1						
小計(5科目)		-	4	6	0	9	1	0	0	0	0	1	
発展科目	医療関連科目群	健康医科学特論	1・2前		2		3	2					
		高齢者疾患特論	1・2後		2		3						
		病態医科学特論	1・2前		2		10	4					
		病態治療学特論	1・2前		2		13	2					
		運動器系機能病態解析学特論	1・2後		2		3	1					
		神経系機能病態解析学特論	1・2後		2		3		1				
		医療工学特論	1・2後		2		2	5	0				
		公衆衛生学特論	1・2前		2		2						
		臨床実践演習	1後		2		1	2	1				
		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2								1
	小計(10科目)		-	0	20	0	38	9	1	0	0	0	1
	福祉関連科目群	福祉社会科学課題演習	1前		2		1	1					
		社会福祉原理論	1前		2		0	1					
		社会保障政策特論	2後		2			1					
		福祉政策特論	1・2後		2								1
高齢者福祉特論		1・2後		2								1	
児童・家庭福祉特論		1・2前		2		1		1					
障害者福祉特論		2後		2			0	1					
生活困窮者支援特論		1・2前		2				1					
医療福祉特論		1・2後		2		1							
福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		1・2前		2			1						
小計(10科目)		-	0	20	0	2	4	1	0	0	0	2	

卒業要件及び履修方法

基礎科目6単位以上(うち必修4単位、選択2単位を含む)、発展科目12単位以上及び研究
展開科目12単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文
の審査および最終試験に合格すること。

なお、発展科目12単位以上については、以下のとおり履修する
こと。

○健康医科学コース

- ・医療関連科目群から8単位以上
- ・福祉関連科目群
- 社会福祉原理論 } 2単位以上
- 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)

- ・心理関連科目群
- 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)
- 生涯発達心理学特論 } 2単位以上
- を修得すること。

○福祉社会科学コース

- ・福祉関連科目群から8単位以上
- ・医療関連科目群
- 高齢者疾患特論 } 2単位以上
- 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)

- ・心理関連科目群
- 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)
- 生涯発達心理学特論 } 2単位以上
- を修得すること。

○臨床心理学コース

- ・心理関連科目群から8単位以上
- ・医療関連科目群
- 高齢者疾患特論 } 2単位以上
- 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)

- ・福祉関連科目群のうち
- 社会福祉原理論
- 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- を修得すること。 } 2単位以上

卒業要件及び履修方法

基礎科目6単位以上(うち必修4単位、選択2単位を含む)、発展科目12単位以上及び
研究展開科目12単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、
修士論文の審査および最終試験に合格すること。

なお、発展科目12単位以上については、以下のとおり履修する
こと。

○健康医科学コース

- ・医療関連科目群から8単位以上
- ・福祉関連科目群
- 社会福祉原理論 } 2単位以上
- 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)

- ・心理関連科目群
- 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)
- 生涯発達心理学特論 } 2単位以上
- を修得すること。

○福祉社会科学コース

- ・福祉関連科目群から8単位以上
- ・医療関連科目群
- 高齢者疾患特論 } 2単位以上
- 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)

- ・心理関連科目群
- 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)
- 生涯発達心理学特論 } 2単位以上
- を修得すること。

○臨床心理学コース

- ・心理関連科目群から8単位以上
- ・医療関連科目群
- 高齢者疾患特論 } 2単位以上
- 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)

- ・福祉関連科目群のうち
- 社会福祉原理論
- 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- を修得すること。 } 2単位以上

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	福祉健康科学特論Ⅰ	1前	2			3	1						
	福祉健康科学特論Ⅱ	1後	2			2	2						
	地域医療健康増進科学特論	1・2後		2		4							
	地域福祉特論	1・2前		2			1						
	家族・コミュニティ心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後		2			1						
小計(5科目)		-	4	6	0	9	2	0	0	0	0		
発展科目	医療関連科目群	健康医科学特論	1・2前		2		3	2					
		高齢者疾患特論	1・2後		2		3						
		病態医科学特論	1・2前		2		10	4					
		病態治療学特論	1・2前		2		13	2					
		運動器系機能病態解析学特論	1・2後		2		3	1					
		神経系機能病態解析学特論	1・2後		2		3		1				
		医療工学特論	1・2後		2		5	0					
		公衆衛生学特論	1・2前		2		2						
		臨床実践演習	1後		2		1	2	1				
		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2								1
小計(10科目)		-	0	20	0	38	9	1	0	0	1		
発展科目	福祉関連科目群	福祉社会科学課題演習	1前		2		1	1					
		社会福祉原理論	1前		2		1	0					
		社会保障政策特論	2後		2			1					
		福祉政策特論	1・2後		2								1
		高齢者福祉特論	1・2後		2								1
		児童・家庭福祉特論	1・2前		2		1						
		障害者福祉特論	2後		2		1	0					
		生活困窮者支援特論	1・2前		2			1					
		医療福祉特論	1・2後		2		1						
		福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2			1					
小計(10科目)		-	0	20	0	3	3	0	0	0	2		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
発展科目	心理学研究法特論	1・2前		2			2				
	臨床心理学研究法特論	1・2後		2		2	1				
	障害児・者心理学特論	1・2前		2			1	1			
	神経生理心理学特論	1・2後		2			1				
	臨床発達心理学特論	1・2後		2			1				
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2前		2							1
	司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2							1
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2後		2		1					
	産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2				1			
	生涯発達心理学特論	1・2後		2							1
	教育心理学特論	1・2後		2							1
	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2		2	1				
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2			2	1			
	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1前		2		1		1			
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後		2		1					
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2			1				
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1前		2			1				2
	臨床心理基礎実習	1通		2			1	1			6
	臨床心理展開実習(心理実践実習A)	1通		2		2	3	1			5
	臨床心理応用実習A(心理実践実習B)	1通		3		2	3	2			
	臨床心理応用実習B(心理実践実習C)	2通		2		2	3	2			
	臨床心理実習A(心理実践実習D)	2通		2		2	3	1			5
	臨床心理実習B	2通		2		2	3	1			
	臨床動作法特論	1・2前		2				1			1
	保護者支援特論	1・2前		2		1	1				
小計(25科目)		-	0	51	0	2	5	2	0	0	12
研究 展 開 科 目	福祉健康科学特別演習Ⅰ	1通	2			45	17	3			
	福祉健康科学特別演習Ⅱ	2通	2			45	17	3			
	福祉健康科学特別研究Ⅰ	1通	4			45	17	3			
	福祉健康科学特別研究Ⅱ	2通	4			45	17	3			
	小計(4科目)		-	12	0	0	45	17	3	0	0
合計(54科目)		-	16	97	0	45	17	3	0	0	15

卒業要件及び履修方法

基礎科目6単位以上(うち必修4単位、選択2単位を含む)、発展科目12単位以上及び研究
展開科目12単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文
の審査および最終試験に合格すること。

なお、発展科目12単位以上については、以下のとおり履修する
こと。

- 健康医科学コース
 - ・医療関連科目群から8単位以上
 - ・福祉関連科目群
 - 社会福祉原理論 } 2単位以上
 - 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
 - ・心理関連科目群
 - 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) } 2単位以上
 - 生涯発達心理学特論
 を修得すること。
- 福祉社会科学コース
 - ・福祉関連科目群から8単位以上
 - ・医療関連科目群
 - 高齢者疾患特論 } 2単位以上
 - 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
 - ・心理関連科目群
 - 健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) } 2単位以上
 - 生涯発達心理学特論
 を修得すること。
- 臨床心理学コース
 - ・心理関連科目群から8単位以上
 - ・医療関連科目群
 - 高齢者疾患特論 } 2単位以上
 - 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
 - ・福祉関連科目群のうち
 - 社会福祉原理論 } 2単位以上
 - 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
 を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 教員退職「准教授」及び教員補充「教授」の理由により、「医療工学特論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・ 教員退職「准教授」及び教員補充「教授」の理由により、「社会福祉原理論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 教員退職「准教授」及び教員補充「教授」の理由により、「障害者福祉特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・ 科目名称変更の理由により、授業科目の名称を「臨床心理査定演習Ⅰ(心理アセスメントに関する理論と実践)」から「臨床心理査定演習Ⅱ」に変更
- ・ 科目名称変更の理由により、授業科目の名称を「臨床心理査定演習Ⅱ」から「臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)」に変更
- ・ 教員退職「准教授」及び教員補充「教授」の理由により、「福祉健康科学特別演習Ⅰ」、「福祉健康科学特別演習Ⅱ」、「福祉健康科学特別研究Ⅰ」、「福祉健康科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授43」から「教授45」に、「准教授19」から「准教授17」に変更

【令和3年度】

- ・教員退職「准教授」の理由により、「福祉健康科学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更 ※退職した教員を兼任教員（非常勤講師）として採用（後任補充予定）
- ・教員退職「准教授」の理由により、「福祉健康科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更 ※退職した教員を兼任教員（非常勤講師）として採用（後任補充予定）
- ・教員退職「准教授」の理由により、「地域福祉特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更 ※退職した教員を兼任教員（非常勤講師）として採用（後任補充予定）
- ・教員補充「准教授」の理由により、「社会福祉原理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更 ※令和3年1月AC教員審査済み
- ・教員補充「准教授」の理由により、「障害者福祉特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更 ※令和3年1月AC教員審査済み
- ・講義形態をオムニバス方式に変更の理由により、「児童・家庭福祉特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更 ※令和3年1月AC教員審査済み
- ・実習施設数の増加を踏まえ、研究科の目指す教育を実施するとの理由により、「臨床心理応用実習B（心理実践実習C）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師2」から「教授2、准教授3、講師2、兼担1」に変更
- ・実習施設数の増加を踏まえ、研究科の目指す教育を実施するとの理由により、「臨床心理実習B」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師1」から「教授2、准教授3、講師1、兼担1」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	48 科目	0 科目	54 科目	6 科目 [0]	48 科目 [0]	0 科目 [0]	54 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{54} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	151,443 m ²	0 m ²	0 m ²	151,443 m ²			
	運動場用地	91,269 m ²	0 m ²	0 m ²	91,269 m ²			
	小 計	242,712 m ²	0 m ²	0 m ²	242,712 m ²			
	そ の 他	180,272 m ²	0 m ²	0 m ²	180,272 m ²			
	合 計	422,984 m ²	0 m ²	0 m ²	422,984 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	114,886 m ² (114,886 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	114,886 m ² (114,886 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	66 室 76 室	156 室 160 室 164 室	364 室 363 室 364 室	20 室 (補助職員 0 人)	2 室 3 室 (補助職員 0 人)	学部等改組に伴う改修のため(2)(3)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻			65 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻	781,100 [199,962] 771,302 [198,111] 770,373 [195,319]	11,310 [4,119] 11,354 [4,142] 11,473 [4,203]	21,201 [21,201] 21,435 [21,435] 20,505 [20,505]	3,497 3,386 3,463	860 741 642	0	大学全体での共用分を含む
	計	778,403 [198,792] (771,302 [198,111]) (773,235 [196,519])	11,310 [4,119] (11,354 [4,142]) (11,473 [4,203])	21,201 [21,201] (21,435 [21,435]) (20,505 [20,505])	3,443 (3,386) (3,363)	860 (741) (642)	(0)	教育研究環境の充実のため(2)(3)
		781,100 [199,962] 771,302 [198,111] 770,373 [195,319]	11,310 [4,119] 11,354 [4,142] 11,473 [4,203]	21,201 [21,201] 21,435 [21,435] 20,505 [20,505]	3,497 3,386 3,463	860 741 642	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	7,631 m ²		940		605,583 605,333		教育研究環境の充実のため(3)	
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	5,056 m ²		弓道場, テニスコート, プール, 陸上競技場等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		-						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	135	0	540	-	1.03	1.00	-	平成28	-	
学校教育教員養成課程	4	135	0	540	学士(教育)	1.03	1.00	-	平成28	大分県大分市大字旦野原700番地	
経済学部	4	290	3年次10	1180	-	1.02	1.00	-	昭和44	-	
経済学科	4	90	0	360	学士(経済学)	-	-	-	平成6	大分県大分市大字旦野原700番地	
経営システム学科	4	80	0	320	学士(経済学)	-	-	-	平成6	同上	
地域システム学科	4	80	0	320	学士(経済学)	-	-	-	平成6	同上	
社会イノベーション学科	4	40	0	160	学士(経済学)	-	-	-	平成29	同上	
各学科共通	-	-	3年次10	20	-	-	-	-	-	-	
医学部	-	160	2年次10 3年次6	902	-	-	-	-	昭和51	-	
医学科	6	100	2年次10	650	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和51	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	
看護学科	4	60	3年次6	252	学士(看護学)	1.02	1.06	-	平成6	同上	
理工学部	4	385	3年次10	1560	-	1.03	1.01	-	平成29	-	
創生工学科	4	235	3年次7	954	学士(工学)	1.04	1.01	-	平成29	大分県大分市大字旦野原700番地	
共創理工学科	4	150	3年次3	606	学士(理工学)	1.03	1.02	-	平成29	同上	
工学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和47	-	
機械・エネルギーシステム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成9	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成3	同上	同上
知能情報システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成3	同上	同上
応用化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成4	同上	同上
福祉環境工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成9	同上	同上
各学科共通	-	-	3年次-	-	-	-	-	-	-	-	
福祉健康科学部	4	100	0	400	-	1.04	1.04	-	平成28	-	
福祉健康科学科	4	100	0	400	学士(福祉健康科学)	1.04	1.04	-	平成28	大分県大分市大字旦野原700番地	
大学全体	-	1070	2年次10 3年次26	4582	-	-	-	-	-	-	

【大学院】												
教育学研究科	2	20	-	40	-	0.82	0.70	-	平成4	-		
(修士課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成4	大分県大分市大 字旦野原700番地	令和2年学生募集 停止	
(専門職学位課程)	-	20	-	40	-	0.82	0.70	-	-	-		
教職開発専攻	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	0.82	0.70	-	令和2	大分県大分市大 字旦野原700番地		
経済学研究科	-	23	-	49	-	-	-	-	平成11	-		
(博士前期課程)	-	20	-	40	-	0.45	0.15	-	-	-		
経済社会政策専攻	2	8	-	16	修士 (経済学)	0.49	0.37	-	平成11	大分県大分市大 字旦野原700番地		
地域経営政策専攻	2	12	-	24	修士 (経済学) 修士 (経営学)	0.41	0.00	-	平成11	同上		
(博士後期課程)	-	3	-	9	-	0.44	0.66	-	-	-		
地域経営専攻	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.44	0.66	-	平成19	大分県大分市大 字旦野原700番地		
医学系研究科	-	40	-	140	-	-	-	-	平成10	-		
(修士課程)	-	10	-	20	-	-	-	-	-	-		
医科学専攻	2	-	-	-	修士 (医科学)	-	-	-	平成15	大分県由布市挾間町医大 ヶ丘1丁目1番地	令和2年学生募集 停止	
看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.55	0.60	-	平成10	同上		
(博士課程)	-	30	-	120	-	0.68	0.80	-	-	-		
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.68	0.80	-	平成20	大分県由布市挾間町医大 ヶ丘1丁目1番地		
工学研究科	-	143	-	294	-	-	-	-	平成7	-		
(博士前期課程)	-	135	-	270	-	1.07	0.98	-	-	-		
工学専攻	2	135	-	270	修士 (工学)	1.07	0.98	-	平成28	大分県大分市大 字旦野原700番地		
(博士後期課程)	-	8	-	24	-	0.29	0.12	-	-	-		
工学専攻	3	8	-	24	博士 (工学)	0.29	0.12	-	平成28	大分県大分市大 字旦野原700番地		
環境工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成7	同上	平成28年学生募 集停止	
福祉社会科学研究科	2	-	-	-	-	-	-	-	平成14	-		
(修士課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福祉社会科学専攻	2	-	-	-	修士 (福祉社会 科学)	-	-	-	平成14	大分県大分市大 字旦野原700番地	令和2年学生募集 停止	
福祉健康科学研究科	2	20	-	40	-	1.17	1.20	-	令和2	-		
(修士課程)	-	20	-	40	-	1.17	1.20	-	-	-		
福祉健康科学専攻	2	20	-	40	修士 (健康医科 学) 修士 (福祉社会 科学) 修士 (心理学)	1.17	1.20	-	令和2	大分県大分市大 字旦野原700番地		
大学院全体	-	246	-	563	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相澤 仁 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 児童・家庭福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	朝井 政治 <令和2年4月>
		地域医療健康増進科学特論※ 高齢者疾患特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	穴井 博文 <令和2年4月>
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	石崎 敏理 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	伊東 弘樹 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相澤 仁 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 児童・家庭福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	朝井 政治 <令和2年4月>
		地域医療健康増進科学特論※ 高齢者疾患特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	穴井 博文 <令和2年4月>
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	石崎 敏理 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	伊東 弘樹 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相澤 仁 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 児童・家庭福祉特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	朝井 政治 <令和2年4月>
		地域医療健康増進科学特論※ 高齢者疾患特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	穴井 博文 <令和2年4月>
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	石崎 敏理 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	伊東 弘樹 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	猪股 雅史 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	井原 健二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	今井 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	上村 尚人 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小野 克重 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 晶志 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 高齢者疾患特論※ 病態治療学特論※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	猪股 雅史 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	井原 健二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	今井 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	上村 尚人 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小野 克重 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 晶志 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 高齢者疾患特論※ 病態治療学特論※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	猪股 雅史 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	井原 健二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	今井 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	上村 尚人 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小野 克重 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 晶志 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 高齢者疾患特論※ 病態治療学特論※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上白木 悦子 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉社会科学課題演習 医療福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河上 敬介 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河野 憲司 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	北野 敬明 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	久保田 敏昭 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上白木 悦子 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉社会科学課題演習 医療福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河上 敬介 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河野 憲司 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	北野 敬明 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	久保田 敏昭 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上白木 悦子 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉社会科学課題演習 医療福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河上 敬介 ＜令和2年4月＞
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	河野 憲司 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	北野 敬明 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	久保田 敏昭 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 雅明 ＜令和2年4月＞
		高齢者疾患特論※ 病態医学特論※ 病態治療学特論※ 地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小林 隆志 ＜令和2年4月＞
		病態医学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	斉藤 功 ＜令和2年4月＞
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	重光 修 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	柴田 洋孝 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 雅明 ＜令和2年4月＞
		高齢者疾患特論※ 病態医学特論※ 病態治療学特論※ 地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小林 隆志 ＜令和2年4月＞
		病態医学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	斉藤 功 ＜令和2年4月＞
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	重光 修 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	柴田 洋孝 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 雅明 ＜令和2年4月＞
		高齢者疾患特論※ 病態医学特論※ 病態治療学特論※ 地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	小林 隆志 ＜令和2年4月＞
		病態医学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	斉藤 功 ＜令和2年4月＞
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	重光 修 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	柴田 洋孝 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 憲男 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	杉尾 賢二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	鈴木 正志 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	駄阿 勉 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	高橋 尚彦 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 憲男 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	杉尾 賢二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	鈴木 正志 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	駄阿 勉 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	高橋 尚彦 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 憲男 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	杉尾 賢二 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	鈴木 正志 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	駄阿 勉 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	高橋 尚彦 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武内(山本)珠美 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 学校臨床心理学特論(教育分野 に関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論I※ 臨床心理展開実習(心理実践実 習A) 臨床心理応用実習A(心理実践 実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践 実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習 D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	谷川 雅人 ＜令和2年4月＞
		運動器系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	寺尾 岳 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	徳丸 治 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	波多野 豊 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武内(山本)珠美 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 学校臨床心理学特論(教育分 野に関する理論と支援の展 開) 臨床心理学特論I※ 臨床心理展開実習(心理実践 実習A) 臨床心理応用実習A(心理実 践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実 践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実 習D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	谷川 雅人 ＜令和2年4月＞
		運動器系機能病態解析学特論 ※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	寺尾 岳 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	徳丸 治 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	波多野 豊 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武内(山本)珠美 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 学校臨床心理学特論(教育分 野に関する理論と支援の展 開) 臨床心理学特論I※ 臨床心理展開実習(心理実践 実習A) 臨床心理応用実習A(心理実 践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実 践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実 習D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	谷川 雅人 ＜令和2年4月＞
		運動器系機能病態解析学特論 ※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	寺尾 岳 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	徳丸 治 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II
専	教授	波多野 豊 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習I 福祉健康科学特別演習II 福祉健康科学特別研究I 福祉健康科学特別研究II

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花田 俊勝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	花田 礼子 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	濱田 文彦 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	平松 和史 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	藤木 稔 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花田 俊勝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	花田 礼子 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	濱田 文彦 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	平松 和史 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	藤木 稔 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花田 俊勝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	花田 礼子 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	濱田 文彦 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	平松 和史 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	藤木 稔 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松浦 恵子 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	三股 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮崎 英士 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮本 伸二 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	村上 和成 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松浦 恵子 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	三股 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮崎 英士 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮本 伸二 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	村上 和成 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松浦 恵子 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	三股 浩光 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮崎 英士 ＜令和2年4月＞
		地域医療健康増進科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	宮本 伸二 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	村上 和成 ＜令和2年4月＞
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山岡 吉生 <令和2年4月>
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	渡邊 亘 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	阿南 雅也 <令和2年4月>
		運動器系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山岡 吉生 <令和2年4月>
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	渡邊 亘 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	阿南 雅也 <令和2年4月>
		運動器系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山岡 吉生 <令和2年4月>
		公衆衛生学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	渡邊 亘 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	阿南 雅也 <令和2年4月>
		運動器系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 法子 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 家族・コミュニティ心理学特論 (家族関係・集団・地域社会に おける心理支援に関する理論と 実践) 福祉心理学特論(福祉分野に 関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理展開実習(心理実践実 習A) 臨床心理応用実習A(心理実践 実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践 実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習 D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	伊波 英克 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	加来 信広 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 法子 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 家族・コミュニティ心理学特 論(家族関係・集団・地域社 会における心理支援に関する 理論と実践) 福祉心理学特論(福祉分野に 関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理展開実習(心理実践 実習A) 臨床心理応用実習A(心理実 践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実 践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実 習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	伊波 英克 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	加来 信広 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 法子 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅱ※ 家族・コミュニティ心理学特 論(家族関係・集団・地域社 会における心理支援に関する 理論と実践) 福祉心理学特論(福祉分野に 関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理展開実習(心理実践 実習A) 臨床心理応用実習A(心理実 践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実 践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実 習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	伊波 英克 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	加来 信広 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河野 伸子 <令和2年4月>
		臨床発達心理学特論 障害児・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床7心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	河野 康志 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	川村 岳人 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉健康科学特論Ⅱ※ 地域福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	下田 恵 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河野 伸子 <令和2年4月>
		臨床発達心理学特論 障害児・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床7心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	河野 康志 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	川村 岳人 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉健康科学特論Ⅱ※ 地域福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	下田 恵 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河野 伸子 <令和2年4月>
		臨床発達心理学特論 障害児・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床7心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 保護者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	河野 康志 <令和2年4月>
		病態治療学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	川村 岳人 <令和2年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉健康科学特論Ⅱ※ 地域福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	下田 恵 <令和2年4月>
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	紀 端成 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	中里 直樹 ＜令和2年4月＞
		心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	泥谷 直樹 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	廣野 俊輔 ＜令和2年4月＞
		社会福祉原理論 障害者福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	廣中 秀一 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	松尾 哲孝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	紀 端成 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	中里 直樹 ＜令和2年4月＞
		心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	泥谷 直樹 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	
専	准教授	廣中 秀一 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	松尾 哲孝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	紀 端成 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	中里 直樹 ＜令和2年4月＞
		心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	泥谷 直樹 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	
専	准教授	廣中 秀一 ＜令和2年4月＞
		病態医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	松尾 哲孝 ＜令和2年4月＞
		健康医科学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 俊郎 ＜令和2年4月＞
		医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	松本 由美 ＜令和2年4月＞
		社会保障政策特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	溝口 剛 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	三好 禎之 ＜令和2年4月＞
		福祉社会科学課題演習 生活困窮者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 由美 ＜令和2年4月＞
		社会保障政策特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	溝口 剛 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	三好 禎之 ＜令和2年4月＞
		福祉社会科学課題演習 生活困窮者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 由美 ＜令和2年4月＞
		社会保障政策特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	溝口 剛 ＜令和2年4月＞
		臨床心理学研究法特論※ 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	三好 禎之 ＜令和2年4月＞
		福祉社会科学課題演習 生活困窮者支援特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村上 裕樹 ＜令和2年4月＞
		神経生理心理学特論 心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	池永 恵美 ＜令和2年4月＞
		障害者・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 臨床動作法特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	岩野 卓 ＜令和2年4月＞
		産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理学面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	菅田 陽怜 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村上 裕樹 ＜令和2年4月＞
		神経生理心理学特論 心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	池永 恵美 ＜令和2年4月＞
		障害者・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 臨床動作法特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	岩野 卓 ＜令和2年4月＞
		産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理学面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	菅田 陽怜 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村上 裕樹 ＜令和2年4月＞
		神経生理心理学特論 心理学研究法特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	池永 恵美 ＜令和2年4月＞
		障害者・者心理学特論 臨床心理学特論Ⅱ※ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 臨床心理実習A(心理実践実習D) 臨床心理実習B 臨床動作法特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	岩野 卓 ＜令和2年4月＞
		産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理学面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理応用実習A(心理実践実習B) 臨床心理応用実習B(心理実践実習C) 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	菅田 陽怜 ＜令和2年4月＞
		神経系機能病態解析学特論※ 臨床実践演習※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古賀 精治 ＜令和2年4月＞ 臨床心理基礎実習 臨床動作法特論
兼任	教授	佐藤 晋治 ＜令和2年4月＞ 臨床心理査定演習Ⅱ
兼任	准教授	堤 隆 ＜令和2年4月＞ 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 慎吾 ＜令和2年4月＞ 社会福祉原理論 障害者福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	浅山 良樹 ＜令和2年4月＞ 医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
兼任	教授	佐藤 晋治 ＜令和2年4月＞ 臨床心理査定演習Ⅱ
兼任	准教授	堤 隆 ＜令和2年4月＞ 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 慎吾 ＜令和2年4月＞ 社会福祉原理論 障害者福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	教授	浅山 良樹 ＜令和2年4月＞ 医療工学特論※ 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	准教授	滝口 真 ＜令和3年4月＞ 社会福祉原理論 障害者福祉特論 福祉健康科学特別演習Ⅰ 福祉健康科学特別演習Ⅱ 福祉健康科学特別研究Ⅰ 福祉健康科学特別研究Ⅱ
専	講師	栄留(堀) 里美 ＜令和3年4月＞ 児童・家庭福祉特論※
兼任	教授	佐藤 晋治 ＜令和2年4月＞ 臨床心理査定演習Ⅱ
兼任	准教授	堤 隆 ＜令和2年4月＞ 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	垣田 裕介 ＜令和2年4月＞ 福祉政策特論
兼任	講師	石倉 健二 ＜令和2年4月＞ 生涯発達心理学特論【隔年】
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和2年4月＞ 健康心理特論（心の健康教育に関する理論と実践）【隔年】
兼任	講師	宇都宮 敦浩 ＜令和2年4月＞ 司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）【隔年】
兼任	講師	岐部 薫 ＜令和2年4月＞ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理実習A（心理実践実習D）
兼任	講師	古城 和敬 ＜令和2年4月＞ 教育心理学特論【隔年】

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		渡邊 晴美 ＜令和2年4月＞
兼担	講師	臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理実習A（心理実践実習D）
兼任	講師	垣田 裕介 ＜令和2年4月＞ 福祉政策特論
兼任	講師	石倉 健二 ＜令和2年4月＞ 生涯発達心理学特論【隔年】
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和2年4月＞ 健康心理特論（心の健康教育に関する理論と実践）【隔年】
兼任	講師	宇都宮 敦浩 ＜令和2年4月＞ 司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）【隔年】
兼任	講師	岐部 薫 ＜令和2年4月＞ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理実習A（心理実践実習D）
兼任	講師	古城 和敬 ＜令和2年4月＞ 教育心理学特論【隔年】

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		渡邊 晴美 ＜令和2年4月＞
兼担	講師	臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理実習A（心理実践実習D） 臨床心理応用実習B（心理実践実習C） 臨床心理実習B
兼任	講師	垣田 裕介 ＜令和2年4月＞ 福祉政策特論
兼任	講師	石倉 健二 ＜令和2年4月＞ 生涯発達心理学特論【隔年】
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和2年4月＞ 健康心理特論（心の健康教育に関する理論と実践）【隔年】
兼任	講師	宇都宮 敦浩 ＜令和2年4月＞ 司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）【隔年】
兼任	講師	岐部 薫 ＜令和2年4月＞ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習（心理実践実習A） 臨床心理実習A（心理実践実習D）
兼任	講師	古城 和敬 ＜令和2年4月＞ 教育心理学特論【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 百合子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	四童子 龍子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習
兼任	講師	隅田 好美 ＜令和2年4月＞
		高齢者福祉特論
兼任	講師	西村 薫 ＜令和2年4月＞
		臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	姫嶋(岡部)詩絵 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	渡邊 晴美 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 百合子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	四童子 龍子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習
兼任	講師	隅田 好美 ＜令和2年4月＞
		高齢者福祉特論
兼任	講師	西村 薫 ＜令和2年4月＞
		臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	姫嶋(岡部)詩絵 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 百合子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	四童子 龍子 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習
兼任	講師	隅田 好美 ＜令和2年4月＞
		高齢者福祉特論
兼任	講師	西村 薫 ＜令和2年4月＞
		臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)
兼任	講師	姫嶋(岡部)詩絵 ＜令和2年4月＞
		臨床心理基礎実習 臨床心理展開実習(心理実践実習A) 臨床心理実習A(心理実践実習D)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 新正 <令和2年4月>
		臨床心理基礎実習 臨床動作法特論

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 新正 <令和2年4月>
		臨床心理基礎実習 臨床動作法特論
兼任	講師	川村 岳人 <令和3年4月>
		福祉健康科学特論Ⅰ※ 福祉健康科学特論Ⅱ※ 地域福祉特論

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・令和2年1月松本俊郎准教授辞任により削除
- ・令和2年3月廣野俊輔准教授辞任により削除
- ・令和2年4月古賀精治教授教育学部長就任により削除
- ・令和2年4月浅山良樹教授就任。令和2年1月教員審査済み。
- ・令和2年4月中山慎吾教授就任。令和2年1月教員審査済み。
- ・令和2年4月渡邊晴美講師本学採用に伴い、兼任から兼任に変更。
- ・令和2年4月田中新正講師兼任就任。
- ・溝口剛准教授について、授業科目の名称を「臨床心理査定演習Ⅰ（心理アセスメントに関する理論と実践）」から「臨床心理査定演習Ⅱ」に、「臨床心理査定演習Ⅱ」から「臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）」に変更。令和2年1月教員審査済み。

【令和3年度】

- ・令和3年3月川村岳人准教授辞任により削除。後任未定であるが、令和3年10月専任教員公募では適格者がいなかったため、現在、令和4年4月から専任教員採用予定で再公募する。
- ・令和3年4月滝口真准教授就任。令和3年1月教員審査済み。
- ・令和3年4月栄留（堀）里美講師就任。令和3年1月教員審査済み。
- ・令和3年4月川村岳人を兼任教員として採用。
- ・相澤仁教授について、担当科目「児童・家庭福祉特論」に栄留（堀）里美講師を担当に追加し、開講方式をオムニバスに変更。令和3年1月教員審査済み。
- ・実習施設数の増加を踏まえ、研究科の目指す教育を実施するため、令和3年4月渡邊晴美講師（兼任）の担当科目に「臨床心理応用実習B（心理実践実習C）」「臨床心理実習B」を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
12 名	6 名	4 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
43	19	3	0	65	0	45	17	4	0	66	0
(43)	(19)	(3)	(0)	(65)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
63	2	0				64	1	1			
(63)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
45	17	4	0	66	0	45	17	4	0	66	0
[+2]	[Δ2]	[+1]	[0]	[+1]	[0]	[+2]	[Δ2]	[+1]	[0]	[+1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
64	1	1				64	1	1			
[0]	[Δ1]	[+1]				[0]	[Δ1]	[+1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{66}{65} = \boxed{101.53} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	松本 俊郎	R2.01	選択	医療工学特論	①	R02.01他機関に異動のため就任辞退（2）			
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅱ	①				
				必修	福祉健康科学特別研究Ⅰ	①				
2	准教授	廣野 俊輔	R2.03	選択	社会福祉原理論	①	R02.03他機関に異動のため就任辞退（2）			
				選択	障害者福祉特論	①				
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅱ	①				
				必修	福祉健康科学特別研究Ⅰ	①				
				必修	福祉健康科学特別研究Ⅱ	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	川村 岳人	R3.03	必修	福祉健康科学特論Ⅰ	②	R03.03他機関に異動のため就任辞退（2）			
				必修	福祉健康科学特論Ⅱ	②				
				選択	地域福祉特論	②				
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅰ	②				
				必修	福祉健康科学特別演習Ⅱ	②				
				必修	福祉健康科学特別研究Ⅰ	②				
				必修	福祉健康科学特別研究Ⅱ	②				
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	6	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	0	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）										
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）								
3	必修	14	科目	必修	8	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	4	科目	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	18	科目	計	11	科目	計	7	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{3}{65} = 4.61\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

設置前の専任教員の退職に伴う専任教員補充は、遅滞なく行い、学生の履修等には影響はない。令和3年3月で他機関に異動した教員の補充は、10月1日付採用で公募したが、適格者がおらず再公募となった。その対応として、辞任した教員を兼任教員として採用し、オンライン方式で講義を実施することとしたため、学生の履修等への影響はない。また、「福祉健康科学特別演習Ⅰ」、「福祉健康科学特別演習Ⅱ」、「福祉健康科学特別研究Ⅰ」、「福祉健康科学特別研究Ⅱ」の研究指導科目については、担当する学生がいなかったため、影響はない。該当学生がいた場合は、後任の専任教員を補充するまでは、他の専任教員で対応するため、支障はない。学生への周知方法は、本学情報システム【学習支援】Moodle（ムードル）により充分周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

7 その他全般的事項

<福祉健康科学研究科 福祉健康科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学院福祉健康科学研究科委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度：毎月1回程度（予定）</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院の教務に関する事項ほか</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・福祉健康科学サロン ・学生生活委員会主催FD</p> <p>b 実施方法 ・講演及び説明会</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・現在進行中の領域横断型研究に関する紹介 18名（令和2年9月17日） ・学生対応に関すること 16名（令和2年12月16日）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 現時点で特記事項なし</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施予定 有</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員へは大学院福祉健康科学研究科委員会等で周知予定。学生へは要望事項への対応状況を示す方向で検討。</p>
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
該当なし
- ② 審議状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
令和3年度は募集定員20名に対し、24名が入学した。
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講義は主にオンラインにより実施しているが、予定通り授業科目を開講している。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和3年7月 公表予定
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。